

○事業所名	インクルー宇都宮教室		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 12日		～ 2026年 3月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 23日		～ 2026年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月実施される職員向けの運動研修を受講することで、利用児に期待出来る効果や発達に合わせた難易度の調整、介助の仕方や応用のポイント等、学ぶことが出来る為、より安全に運動が提供され、翌月への運動へ繋がられる。	運動研修に参加することで、介助の仕方やサポートする為の動きを理解することが出来る。	今後も運動研修を実施し、職員間で理解する。
2	学校からの宿題が集中して行えるよう、個室(学習スペース)を使いながら取り組んでいる。	職員配置の関係で、活動室で行う場合は、机の向きを変えて、其々が視覚に入らないよう工夫している。	集中して行えるよう今後も個室を使用して取り組めるようにする。
3	近隣に公園が沢山あり、子ども達が飽きないように、また児童の特性等を配慮しながら公園選びをしている。	・公園は、近い所で徒歩7分程度のため、交通ルールを事前に確認したり、歩道の歩き方などを確認してから出発している。 ・手順書などで公園の写真を見せたり、設置された遊具の遊び方、ルールなどについても必ず確認している。(視覚化)	・現在、事前に下見している場所だけでは足りない為、新し場所を開拓して子ども達が飽きないように設定していきたい。 ・屋内で過ごせるおでかけ場所が少ないため、今後の為に雨天時の施設や暑さ(寒さ)対策の屋内施設などを新規開拓していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎範囲が広範囲となり、道路の込み状況やコースによっては帰りの送迎で1時間半かかってしまうことがある。	できるだけ、長時間の運転は避けたいので、乗り合いにして、近くの児童を先に送ってから遠距離方面へ向かっている。また数名の児童送迎の場合は、できるだけ職員2名体制で行うようにしている。	今後は、送迎車の確保と職員の確保をしていく必要がある。
2	10名以上の児童になってしまうと、活動室には限界がある。	活動内容やプログラムの工夫をしていく。	個室を利用しながら工夫していく。
3			

事業所における自己評価総括表_児童発達支援

○事業所名	インクルー宇都宮教室		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 12日		～ 2026年 3月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 23日		～ 2026年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月実施される職員向けの運動研修を受講することで、利用児に期待出来る効果や発達に合わせた難易度の調整、介助の仕方や応用のポイント等、学ぶことが出来る為、より安全に運動が提供され、翌月への運動へ繋げられる。	運動研修に参加することで、介助の仕方やサポートする為の動きを理解することが出来る。	今後も運動研修を実施し、職員間で理解する。
2	のびのびと運動できるスペースと、療育(座学)のスペースを分けて活動することにより、子ども達が落ち着いて生活できるよう配慮している。また、個別課題の時間は児発と放デイの利用児を分けて活動している。	個別課題の時間配分は、放デイの利用児より短く設定し、様子を見ながら小精鋭している。	個別課題は個々の発達や理解力に合わせた内容を充実させる。
3	近隣に公園が沢山あり、子ども達が飽きないように、また児童の特性等を配慮しながら公園選びをしている。	・公園は、近い所で徒歩7分程度のため、交通ルールを事前に確認したり、歩道の歩き方などを確認してから出発している。 ・手順書で公園の写真を見せて、設置された遊具の遊び方、ルールなども必ず確認している。	・現在、事前に下見している場所では足りない為、新しく開拓して子ども達が飽きない場所を設定していきたい。 ・屋内で過ごせるおでかけ場所が少ないため、今後の為に雨天時の施設や暑さ(寒さ)対策の屋内施設などを開拓していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎範囲が広範囲となり、道路の込み状況やコースによっては帰りの送迎で1時間半かかってしまうことがある。	できるだけ、長時間の運転は避けたいので、乗り合いにして、近くの児童を先に送ってから遠距離方面へ向かっている。	今後は、送迎車の確保と職員の確保をしていく必要がある。
2	長時間の乗車になってしまう際、児童が眠ってしまう小さいお子さんがジュニアシートでは危険な時がある。	危険な場合は、必ず添乗員をつける。	今後は、チャイルドシートの購入検討
3			